

ケロちゃん通信

2022年 9月 第87号



ながおか医療生協
あたごこどもクリニック

〒940-0038 長岡市琴平1丁目2-1 電話番号0258-36-5810
<http://www.nagaoka-iryu-seikyuu.jp/>

☆ 長岡まつりが終わると、夏も終わりかなという感じになります。台風や前線の影響で雨の日も多かったですが、皆さんは夏を楽しめましたでしょうか。涼しい秋になるとよいですね。

☆ 今年の夏は、新型コロナの7波に加え、手足口病、ヘルパンギーナ、ヒトメタニューモウイルス、RSウイルスの流行もみられ、発熱の患者さんが多い夏でした。特に新型コロナウイルス感染の診察、検査は動線や時間を分けてやらないといけないので、受診数の制限なども行い、皆様にもご迷惑をおかけしました。コロナの5類への変更が持ちどうしいです。

☆ 10月からインフルエンザワクチンの接種開始予定です。例年並みに施行予定ですが、5-11歳のコロナ3回目およびオミクロン株対応の2価ワクチンの接種がどのようになるか詳細が不明なので、予約枠づくりに苦慮しています。そろそろ予約のお知らせもださないといけないのですが、もう少し情報が入ってから予約開始したいと思いますので、よろしくお願いします。

☆ 新型コロナウイルスワクチンはインフルエンザワクチンとのみ同時接種も可ということですが、他のワクチンとの同時接種はできません。予約受付開始時に同時接種希望の方の予約方法も提示しますのでよろしくお願いします。

9月の診療予定

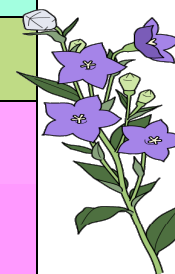
9月 1日 (木) 都合により休診とさせていただきます。
 9月10日 (土) 土曜午後診療を行います。
 9月28日 (水) 10日の代休で休診とさせていただきます。

本間医師 2日午前・午後 9日午前

診療案内

・感染予防のため、発熱、かぜなどの急性疾患を主に診る一般外来と慢性疾患（感染性のない疾患や定期処方など）を診る慢性外来の診療時間を分けています。

時間	月	火	水	木	金	土
8:30	一般外来 (急性疾患)					10:30~
11:00		予防接種 健診 (1才未満)		予防接種 (1歳以上) 慢性外来		
11:30 12:00	11:30~ 慢性外来					
13:45	予防接種 健診 (1歳未満)					
14:45	予防接種 (1歳以上) 慢性外来					
15:30	一般外来 (急性疾患)					
16:30		工 場 用				
17:30						



・一般枠内にも予防接種枠がありますので、ご利用ください。
 ・スマイリーでは、急性疾患は「一般外来」から、慢性疾患・定期処方は「慢性外来」からご予約ください。
 ・もちろん、急を要するような場合にはすぐにご連絡ください。
 詳しくはホームページのお知らせをご覧ください。

ヒトメタニューモウイルス感染症ってなあに？

- ヒトメタニューモウイルス感染症が今年は7月くらいから流行しています。あまり聞きなれない病名かもしれませんが、珍しい病気ではありません。
- 冬のインフルエンザ、夏の手足口病、ヘルパンギーナなどの夏かぜのほかにも季節性に流行するかぜがあります。せき、ゼーゼーの呼吸器感染症としては、春先のヒトメタニューモ、秋にパラインフルエンザ3型、秋から冬のRSウイルスが有名ですが、最近は季節に関係なく流行がみられています。
- ヒトメタニューモ、RSウイルスは迅速検査で診断できますが、パラインフルエンザ3型はまだ迅速検査できません。迅速検査ができるようになれば、パラインフルエンザ3型が流行っているよってということも聞かれるようになるかもしれません。新型コロナも近い将来、このかぜウイルスの一つになるものと思われます。
- ヒトメタニューモウイルスは、気管支炎や肺炎などの呼吸器感染症をひきおこすウイルスの1種です。症状はRSウイルス感染症と似ています。3月～6月に流行することが多く、1歳～2歳の幼児がもっとも感染します。小児の呼吸器感染症の5-10%はこのウイルスが原因です。1回感染しても免疫ができず繰り返し感染することで次第に免疫を獲得していきます。

＜症状＞

- 咳、鼻、熱などの風邪症状が主体です。年長児は感染しても、風邪症状で終わることが多いです。鼻水や痰などが付着した手や物からの接触感染および、せきや痰による飛沫感染により感染します。
- 1歳～2歳児で高熱が出てゼコゼコしていれば、ヒトメタニューモウイルス感染症も疑われます。乳幼児では重症化することがあり、注意が必要です。

- 38～40℃の熱が4～5日続き、ゼコゼコとせき込みがひどくなり呼吸困難があれば細気管支炎や肺炎が疑われ、入院加療が必要になる場合もあります。また、細菌に重複感染することもあります。

＜診断＞

- ヒトメタニューモウイルスの迅速診断キットがあります。鼻咽頭を細い綿棒でぬぐい検査することにより5分程度で結果が得られます。感染していてもウイルス量が少ないと陰性になることもあります。

＜治療＞

- 診断はできますが、ヒトメタニューモウイルスに効くお薬はありません。治療は対症療法のみで、熱、咳、喘鳴などに対する治療を行います。
- 水分がとれない、眠れない、呼吸が苦しい等の症状がみられたら、すぐに受診してください。

＜予防＞

- 手洗いやうがいの励行、マスクの着用、タオルや食器の使い分けなどが必要です。

＜登園・登校の基準＞

- 発熱、せきなどの症状がなく、全身状態が良好であれば登園・登校できます。
- 許可証は施設によっては必要な場合もあります。症状が安定するまで自宅療養をしてください。

